

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 6 年 11 月 14 日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第 6 号	質問議員	7 番	富田 陽子 
件 名	「山北で子育てしてよかった！」を増やしたい			
要 旨				
全国的に少子化が加速する中、当町の出生数も近年は 30 人前後となっており、令和 6 年度の見込みでは 10 人程度と急速に減少している。また、小学校では 5 年以内に 1 クラスになる学年がでてくる可能性もあり、クラス替えがない弊害や、登下校時の不安、部活動の選択肢が減るなど、心配の声も多い。 このような状況において、一人ひとりの子どもに寄り添うこと、選択肢が広がること、特色ある教育・保育を行うことで、「山北で子育てしてよかった！」という声が、子どもの増加につながると考え質問する。 1. アレルギーがあり給食を食べることができず、お弁当を持参する子どもがいるが、寄り添えるような対応は。 2. 三保・清水地区以外にも学校が遠く、自力で通学できない子どもがいる。スクールバスの運行や通学費補助の地区を全域に広げる等の対応は。 3. 正職員の保育士数が足りておらず、0 歳児クラスでは年度途中での入園ができないケースがある。待遇改善や仕事量の見直しなど、保育士が働きやすい環境を整えること、やってみたい保育が山北にあることが重要と考えるが対応は。 4. 民間の認可外保育園やフリースクール等、子どもの育ちの場を広く選択できるよう、国の制度を活用し補助できる体制に取り組む考えは。 5. 少人数だからこそ、一人ひとりの子どもに目が行き届く、「できる教育・保育」があると考え。地域の方や経験者の協力を得ながら、これまで以上に自然と子どもがつながる場を増やすような特色ある教育・保育に取り組む考えは。				